

2022年11月8日開催「社会的インパクト・マネジメント入門セミナー ～社会企業の事例から学ぶ営利セクターにおけるSIM～」に対するQA(一部)

#	質問	回答
1	SIMI千葉さまのご説明の中で、IMMとSIMがありましたが、用いるマテリアル(ToC、ロジックモデル等)は同じでしょうか？	SIMやIMMの各ステップにおいて、使用するフレームやツールは状況や文脈によって異なります。SIMガイドラインでは、各ステップにおける作業例ということで、使用するフレームやツールの一例を示しています。
2	公共事業こそインパクトを盛り込んだ事業展開が必要ではないかと考えています。公共事業でのインパクトマネジメントの可能性と、どのような役割が必要かご見解を教えてくださいと思います。	公共事業において社会的インパクトを考慮することの可能性は大いにあります(マイナスの社会的インパクトを減らすこと、プラスの社会的インパクト創出のための費用対効果を高めることなど)。しかし、社会的インパクト・マネジメントはデータを活用しながら、事業を柔軟に改善・発展させていくことやステークホルダーの巻き込みを重視しているものです。したがって、ダムや道路を作るといったやることが固定化されている類の公共事業では、本来の意図を発揮しづらいと思います。